

2016 年度

獨協大学外国語学部

英語学科海外学修奨励賞短期研修

募集要項

<研修期間>

2017 年 2 月 12 日（日）～19 日（日）

企画：獨協大学外国語学部英語学科

旅行取扱業者：(株) 毎日エデュケーション

- ◆ 研修期間：2017年2月12日（日）～19日（日）（7泊8日）
- ◆ 研修先：香港大学（University of Hong Kong）
香港大学專業進修學院（HKU School of Professional and Continuing Education）
- ◆ 参加費用：
 - （1）研修費用のうちの1万円及び海外旅行保険費用5,236円の計15,236円を自己負担とする。
 - （2）研修中の食費、空港と香港大学間のバス費用以外の香港市内移動の交通費（計約30,000円）は自己負担とする。
 （2015年度の自己負担額は、総額約45,000円。研修費、宿泊費、航空券その他の費用は「獨協大学父母の会」が負担。）

- ◆ 研修内容：
 - （1）事前学習・準備（12月7日、12月14日、12月21日、1月11日、1月18日、2月8日の計6回実施予定）
 - ・ 本学教員による香港事情に関する講義及びリサーチの素案作成
 - ・ 国際交流センターによる危機管理セミナー
 - （2）香港での研修（日程表）

日時	場所	内容	宿泊
2月12日 （日）	東京（成田）発 香港着	移動	香港大学寮 （Robert Black College）
2月13日 （月）	香港	午前）9:00～11:30 英語による講義 午後）グループリサーチ／対話・訪問	
2月14日 （火）		午前）9:00～11:30 英語による講義 午後）グループリサーチ／対話・訪問	
2月15日 （水）		午前）9:00～11:30 英語による講義 午後）グループリサーチ／対話・訪問	
2月16日 （木）		午前）9:00～11:30 英語による講義 午後）グループリサーチ／対話・訪問	
2月17日 （金）		午前）9:00～11:30 英語による講義 午後）グループリサーチ／対話・訪問	
2月18日 （土）		日帰りツアー（香港大学の学生同行）	
2月19日 （日）		香港発 東京（成田）着	

- （3）事後学習（3月中に4回実施）
英文によるリサーチ報告書（1,500語程度）の作成
- （4）新年度オリエンテーション時に成果発表（3月末）、報告書の完成（5月末〆切）

- ◆ 対象者：英語学科 1～3 年生
- ◆ 募集人数：1～3 年生 10 名
- ◆ 出願資格：
 - (1) 日常会話だけでなく、資料作成、議論、プレゼンテーションが行える十分な英語力を有する者。
 - (2) 日本とアジアの関係に強い関心を持ち、これらについて十分に情報収集を行ったうえで本研修に臨む意欲のある者。
 - (3) 全行程を通じて参加し、集団の一員として率先してリーダーシップを発揮できる者。
 - (4) 累積 GPA2.75 以上の者。
 - (5) 本研修に参加したことのある者は応募できない。
- ◆ 応募締め切り：2016 年 11 月 11 日（金）午後 5 時まで
- ◆ 応募方法：
 - (1) 獨協大学ホームページより「外国語学部英語学科学修奨励賞短期海外研修申込書」をダウンロードして、必要事項を記入し、国際交流センターに提出のこと。
 - (2) 「外国語学部英語学科学修奨励賞短期海外研修申込書」裏面の「Statement of Purpose (500 words)」はワープロソフトを使って英語で作成する。プリントアウトしたものを貼ってもよい。
 - (3) 「外国語学部英語学科学修奨励賞短期海外研修申込書」に記載する TOEFL、TOEIC または IELTS のスコアについて、以下の場合は証明書類の添付は不要である。
 - (i) 獨協大学で実施した団体受験の TOEIC スコア
 - (ii) 教務課で単位換算済みの TOEFL/TOEIC/IELTS のスコア
 - (iii) 1 年生秋学期実施の団体受験の TOEFL スコア個人で受験して取得した TOEFL/TOEIC/IELTS のスコアに関しては必ず証明書類を添付のこと。
- ◆ 審査方法：提出書類、獨協大学での成績をもとに第一次審査を行う。第一次審査の結果はメールにて各自に通知する。第一次審査を通過した者に対して 11 月下旬に英語学科教員による面接を行い、研修参加者 10 名及び補欠 2 名を決定する。面接の結果はメールで各自に通知するとともに、研修参加者 10 名については教務課前掲示板に公示する。
- ◆ 誓約書：審査に合格し研修に参加することになった場合は、本短期研修に関する誓約書に本人及び保証人が署名、捺印をして外国語学部長に提出しなければならない。